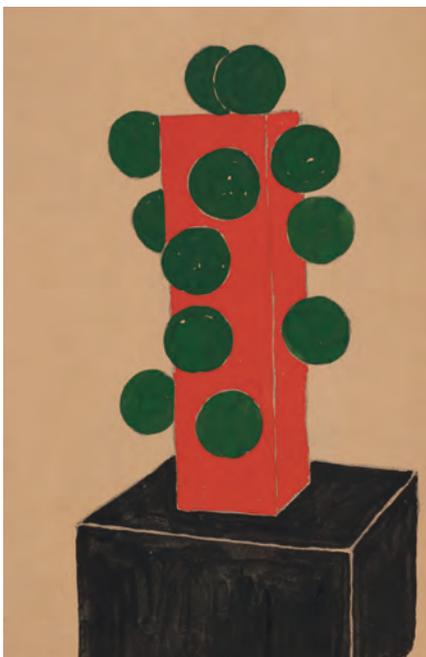


© ACG プレスリリース
－ 展覧会開催のご案内 －

OAP彫刻の小径 2018-2019 ジャウマ・アミゴー／川島慶樹「オーガニック・パラダイス」

OAP Sculpture Path 2018-2019: Jaume Amigó and Keiju Kawashima "Organic Paradise"



[左] 川島慶樹 出展作品《CLASSICS metal》2018
[中] ジャウマ・アミゴー 出展作品 プランスケッチ

大阪市北区の「OAP彫刻の小径」において、国際的に活躍する2名の現代アーティスト、ジャウマ・アミゴーと川島慶樹による野外彫刻展を開催します。

ジャウマ・アミゴーは、バルセロナを拠点にヨーロッパやアジア各地を訪問しながら、20年以上にわたって滞在制作や展覧会を行っています。絵画・彫刻・陶・版画など幅広い表現は、自然や悠久の時間を感じさせるおもしろさが魅力です。本展では、ピレネー山脈の麓にある冬の凍りついた泉と春を待つ自然の風景から着想を得て、日本で制作した陶とステンレスによる新作《The Frozen Fountain》を色彩豊かに展開させます。

大阪を拠点に活動する川島慶樹は、木と石、鉄とガラスなど、異素材を組み合わせた抽象彫刻で1980年代より高い評価を受ける作家です。2000年以降は人工的なポリエチレン素材も取り入れながら有機的なフォルムを進化させ、愛嬌ある生きものやキャラクター性を感じさせる彫刻を手がけています。本展では、原始植物を思わせるガラスとステンレスによる《CLASSICS metal》シリーズ、架空の生命体をアルミニウムで象った《Funny Buddies Aluminum》シリーズを発表します。

アミゴー、川島の両者は、自然を観察し、時には見立てを以って、素材から得たインスピレーションを自由に飛躍させ、愛情深い作品世界を創り出します。未知なる生命との出会いのような豊かな想像がひろがる「オーガニック・パラダイス」をどうぞお楽しみください。

■OAP彫刻の小径について

OAP彫刻の小径は、天神祭でも知られる大川を臨む水辺のプロムナード沿いに位置します。8点の大型野外彫刻は、一年半毎に水都大阪にふさわしいテーマを設けて展示替えを行っています。国内外で活躍する気鋭作家の彫刻作品を、親しみやすくをモットーに2005年よりご紹介しています。

【展覧会概要】

観覧料：OAP彫刻の小径2018-2019

ジャウマ・アミゴー／川島慶樹「オーガニック・パラダイス」

会期：2018年5月～2019年10月

会場：OAP彫刻の小径 (OAP公開緑地内、大川沿いのプロムナード)

主催：アートコートギャラリー (株式会社八木アートマネジメント)

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社



ジャウマ・アミゴー 制作風景より 2018

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com Website:www.artcourtgallery.com

ジャウマ・アミゴー Jaime Amigó

作家コメント

スタジオの近くには泉があり、冬の間は完全に凍結しています。泉の周りの石には様々な形や色をした地衣類* が住んでいて、彼らはゆっくりと時の経過について考え、体現しています。村の木々や壁にも地衣類を見つけることができます。彼らは無限の多様性をまとめて静かに再生を繰り返し、四季に応じた色彩で私を魅了します。

私が日夜繰り返す作家としての生業も同じで、季節の移り変わりに寄り添うように、微妙なニュアンスで変化を重ねてゆきます。春、夏、秋、冬、過ぎ行く時間、日々、年月…。すべてが私の作品に影響を与えます。

新しい種が突如として発生と繁栄を遂げる一方で、衰退と復活を経ながら同じ草木を脈々と受け継いできた種子たち…。生命は、こうした生成流転のなかで繰り返されています。

木には同じ枝が反復的な状態で芽吹きますが、それらが完全に同一であることは決してありません。

今回出展する陶とステンレスの4点の彫刻作品では、同じ形を異なる方法で展開しています。それらが、泉とその周辺に芽生える地衣類を想起させるとともに、自然が私たちに見せてくれるこの反復的な循環の象徴となるよう願っています。

* 菌類と藻類とが共生してできた植物群。

出展作品 制作協力：高取焼 鬼丸雪山窯元、太平産業株式会社

1963 スペイン、バルセロナ生まれ

主な個展

- 2018 バルセロナ大学(バルセロナ、スペイン)
- 2017 「Camí privat」Sant Pere de Riudebitlles(バルセロナ、スペイン)
- 2016 La Ferme-Asile(シオン、スイス) ['09]
- 2015 Galerie Roger Katwijk(アムステルダム、オランダ) ['12, '09, '06]
- ギャラリーブロッケン(東京) ['10, '02, '01, '97, '95]
- ギャルリ プチボワ(大阪) ['12, '10, '08, '06-'04, '02, '96]
- 2013 ビエナアートスペース(東京)
- Museu de Capellades(バルセロナ、スペイン)
- Cal Talaveró(レリダ、スペイン) ['07]
- 2012 Michael Dunev Art Projects(ジローナ、スペイン) ['08, '04, '00]
- 2011 Palau Falguera(バルセロナ、スペイン)
- 2010 エスプリ・ヌーボーギャラリー(岡山) ['08, '04, '02, '01]
- Galeria N2(バルセロナ、スペイン)
- 2009 Dépôt Art Contemporaine(シオン、スイス)
- 2008 Maison Déodat de Séverac(サン＝フェリックス＝ロラゲ、フランス) ['02]
- アートフロントギャラリー(東京)
- 2007 Galeria Masha Prieto(マドリッド、スペイン)
- 2006 正覚寺(大阪)
- 2003 Antic Ajuntament de Tarragona(タラゴナ、スペイン)
- Amics de les Arts(テラサ、スペイン)
- 2002 Espai Quatre, Casal Solleric(バルマ、スペイン)
- 2001 Galeria Dels Àngels(バルセロナ、スペイン) ['99]
- 1999 Aldo Castillo Gallery(シカゴ、USA)

主なグループ展

- 2016 「Moroccan Trails」SIO gallery(大阪)
- 2015 The Art Coco(バルセロナ、スペイン)
- 2014 「第2回カサブランカ国際ビエンナーレ」(カサブランカ、モロッコ)
- 2013 「Visions Multiples」Sofitel(カサブランカ、モロッコ)
- 2012 「Made in Japan」HD Riudebitlles(バルセロナ、スペイン)
- 2011 Gallery Space Q(東京)
- 2009 La Hall Ferme-Asile(シオン、スイス)
- 「Art Amsterdam」Galeria Krijger + Katwijk(アムステルダム、オランダ) ['07, '06]
- 2008 Céramiques Contemporaines(シャルトル＝ド＝ブルターニュ、フランス)
- 2007 「バルセロナのアーティストたち」アートフロントギャラリー(東京)
- 「Arco 07」Galeria dels Àngels(マドリッド、スペイン) ['06-'99]
- 2006 「Federació Catalana de Bàsquet」(バルセロナ、スペイン)
- 2005 「Estampa 05」Galeria Pedro Peña(マドリッド、スペイン)
- 「Museum Laboratory」海岸通ギャラリー・CASO(大阪)
- 2003 「Vent」Altafulla d'Art(タラゴナ、スペイン)
- 2002 「立川アートフェスティバル」(東京)
- 「ホスピタル・オブ・ガミ」ギャラリーKURANUKI(大阪)
- 2001 「La casa del cactus」La Capella(バルセロナ、スペイン)
- 2000 「7 Artistas de Barcelona」Museo del Barro(アスンシオン、パラグアイ)

主な作品設置

- 2017 Flagship Store Etnia(バルセロナ、スペイン)
- ロッテアライリゾート(新潟)
- 2016 Hall Hotel Madanis(バルセロナ、スペイン)
- 2015 フェアモントホテル(ジャカルタ、インドネシア)
- 2014 ルメリディリアン(バルセロナ、スペイン)
- 2012 パレスホテル東京 ゲストルーム(東京)
- 2010 City Hall of Sant Feliu(バルセロナ、スペイン)



【参考作品】《Nicolás vegetable garden 1》
鉄、紙 | 55 x 90 x 90 cm | 2000-01



【参考作品】《The direction of the wind》
鉄、紙 | 20 x 20 x 180cm(各) | 2006

川島慶樹 Keiju Kawashima

作家コメント

私が手がける彫刻作品の多くには、複数の素材が意図的に使われています。様々な素材を作品に取り込み組み合わせることで、必然的に彫刻それ自体が素材からの影響を大きく受け、形態に変化を与えていきます。また異なる素材の接合部は常に自然の形態から着想を得、細部が決定され、徐々にシルエットが明確になっていきます。細部の着想が全体の構想を支配しているような感覚を好んで模索しているのです。

《CLASSICS metal》シリーズは1995年ごろから手がけている手法で、数百に及ぶ不定形に切断した1mm厚のステンレス板をアルゴン溶接で貼り合わせながら、架空の植物の枝や茎を緻密に表現しています。《Funny Buddies Aluminum》シリーズは2000年に描いた油彩画《Paya Paya》のキャラクターが10mm厚のアルミニウムにカットアウトされ、この2018年に絵画の中から飛び出します。

1962 大阪府生まれ
1984 大阪芸術大学美術学科彫塑卒業

主な個展

2017 始弘画廊(東京)[15]
2016 「Twiggy project」SIO gallery(大阪)
ギャラリーモーニング(京都)[11, '10]
ギャラリーエスプリ・ヌーボー(岡山)[10, '08, '06, '02, '01]
Gallery idm(釜山、韓国)[14]
2015 山本美術(大阪)[07]
2013 ギャラリー プチボア(大阪)
2011 番画廊(大阪)[03, '01, '00, '98- '93, '91, '90, '88- '85]
2010 GALERIA PAQUI DELGADO(サン・サドウルニ・ダノヤ、スペイン)
「in my studio」奈義町現代美術館ギャラリー(岡山)
2009 Quiosc Gallery(トレンプ、スペイン)
2001 Galeria Principal Sombrerers(バルセロナ、スペイン)
1999 Galeria Principal Montcada(バルセロナ、スペイン)
1995 「第1回 おおさかパブリックアート賞受賞者展」サクラアートミュージアム(大阪)
1986 ギャラリー白(大阪)[84]

主なグループ展

2017 「Busan Annual Market of Art」(釜山、韓国)
2015 「THE 33rd KOREA GALLERIES ART FAIR」(ソウル、韓国)
「Busan Art Market Affair 2015」(釜山、韓国)
2007 アートフェア「SOFA NEW YORK」(ニューヨーク、USA)[ARTCOURT Galleryより出展]
アートフェア「SOFA CHICAGO」(シカゴ、USA)[ARTCOURT Galleryより出展]
2005 「MUSEUM LABORATORY 2005」海岸通ギャラリー・CASO(大阪)
2004 「It's the season to be Jolly」YOSHIKO MATSUMOTO GALLERY(アムステルダム、オランダ)
1993 「美術の中のかたち」兵庫県立近代美術館
「第1回画廊の視点 '93」大阪府立現代美術センター
1991 「美術の現在—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展」(和歌山県立近代美術館)
1990 「作法の遊戯—'90春・美術の現在 第1期」水戸芸術館現代美術ギャラリー(茨城)
「アート・ナウ」兵庫県立近代美術館 ['88, '87]
1989 「サントリー美術館大賞展 '89」サントリー美術館(東京)

主な作品設置

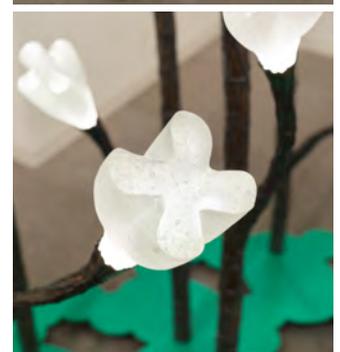
2016 ザ・リッツ・カールトン東京 クラブラウンジ
紀尾井町レジデンス(東京)
グランドプリンスホテル新高輪 エントランス(東京)
2015 Fairmont Hotel Jakarta ロビーラウンジ(ジャカルタ、インドネシア)
2014 汐留住友ビル B1エントランス(東京)
2011 久宝寺メガシティタワー エントランス(大阪)
2010 住友不動産西新宿ビル エントランス(東京)
2005 九州保健福祉大学 QOL研究機構(宮崎)
2003 EL PALAU FALGUER(バルセロナ、スペイン)
守口市西山荘遊歩道(大阪)
1993 心齋橋ビッグステップ 北側(大阪)
1990 富田林市リボン通り(大阪)

パブリックコレクション

和歌山県立近代美術館、サントリー美術館(東京)



【参考作品】《Paya Paya》
油彩、キャンバス
116.5 x 91 cm | 2000



【参考作品】《twiggy project 2016》
ステンレススチール、ガラス、ポリエチレン
2016